

寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点～終点

墨堤通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」と歩いてきました。

今回は桜の時期を待っていた「墨堤通り」を歩いています。墨堤通りは墨田区吾妻橋の浅草通りと清澄通りの交差点を起点に、足立区千住桜木の尾竹橋通りの千住桜木町交差点に至る延長約7kmの道です。写真右上は墨堤通りの道路名標識（都道461号線）です。今回は起点から白鬚神社まで歩きました。

今回は白鬚神社から終点の千住桜木町交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[白鬚神社のしだれ桜]

墨田区東向島三丁目

最寄駅 東京スカイツリーライン（伊勢崎線）

東向島駅

白鬚（しらひげ）神社の境内ではしだれ桜（写真右）が満開でした。「ひげ」の字は三種類あり。鬚は「あごひげ」、髭は「口ひげ」、髯は「ほほひげ」とのことです。



[橋東詰交差点] 墨田区堤通一丁目

最寄駅 東京スカイツリーライン（伊勢崎線）東向島駅

橋東詰交差点で明治通り（都道 306 号線）と交差します。橋とは隅田川にかかる「白鬚橋」のことで、左へ行くと白鬚橋を渡り三ノ輪方面、右へ行くと亀戸方面です。寅次郎、明治通りを歩いて、ここを通過したのは 2022 年 1 月でした。



[隅田川神社] 墨田区堤通二丁目

最寄駅 東京スカイツリーライン（伊勢崎線）鐘ヶ淵駅

左側に都営白鬚東アパートが立ち並んでいる前に大きな鳥居がありました。名前を見ると「隅田川神社」、これは参拝したいと思い、境内に入りました。「東白鬚公園」の桜並木（写真下右）の先に隅田川神社（墨田の鎮守・水神様）があります。



説明板によると「隅田川神社(写真下左)はここから 100m北側にありましたが、首都高速道路向島線(写真下左の後ろ)の建設に伴い、1975年(昭和50年)ここに移転しました。社殿は貴重な江戸時代の神社建築として墨田区有形文化財に登録されています」と記載。神社前の東白鬚公園は桜が咲き誇っていました。



[銅造榎本武揚像] 墨田区堤通二丁目

最寄駅 東京スカイツリーライン（伊勢崎線）鐘ヶ淵駅



墨堤通りに戻り進むと、今度は左側に大礼服姿の銅像が現れました。戊辰戦争終盤の箱館戦争で明治新政府軍と戦った旧幕臣「榎本武揚（1836～1908）」の銅像です。説明板には「没後の1913年（大正2年）5月に建立されました。投獄されましたが、維新後は明治政府に出仕し、文部大臣・外務大臣などの政府の要職を歴任、晩年は向島に構えた別荘で過ごしました。建立にあたっては大隈重信や大倉喜八郎、渋沢栄一などの政財界を代表する人物が協力しました。銅像は墨田区の登録文化財に登録されています」と記載。

墨堤通りに戻り進むと、今度は左側に大礼服姿の銅像が現れました。戊辰戦争終盤の箱館戦争で明治新政府軍と戦った旧幕臣「榎本武揚（1836～1908）」の銅像です。説明板には「没後の1913年（大正2年）5月に建立されました。投獄されましたが、維新後は明治政府に出仕し、文部大臣・外務大臣などの政府の要職を歴任、晩年は向島に構えた別荘で過ごしました。建立にあたっては大隈重信や大倉喜八郎、渋沢栄一などの政財界を代表する人物が協力しました。銅像は墨田区の登録文化財に登録されています」と記載。

[鐘ヶ淵陸橋] 墨田区堤通二丁目

最寄駅 東京スカイツリーライン（伊勢崎線）鐘ヶ淵駅

鐘ヶ淵陸橋交差点（写真下右）で左へ行くと「水神大橋」を渡り、荒川区南千住方面、右へ行くと鐘ヶ淵駅から四ツ木橋方面です。説明板によると『鐘ヶ淵は、隅田川と綾瀬川の合流地点で、江戸時代後期の書には鷺の名所であったと記されています。かつては隅田川が直角に曲がり、それが大工道具の「さしがね」に似ていることから「かねが淵」と呼ばれるようになりました。鐘にまつわる伝説もいくつかあります。明治時代には、周辺の開発が進み、紡績工場が

建てられて、社名を「鐘ヶ淵紡績」としました。後の「鐘紡（カネボウ）」で東京工場がありましたが、1969年（昭和44年）工場は操業停止しました』と記載。



〔東白鬚公園・墨田区総合運動場〕 墨田区堤通二丁目

最寄駅 東京スカイツリーライン（伊勢崎線）鐘ヶ淵駅

隅田川神社があった東白鬚公園と都営住宅は（写真下左）はここまで続いていました。その隣には「フクシ・エンタープライズ 墨田フィールド（墨田区総合運動場）」の看板がありました。墨田区のスポーツ施設です。



〔綾瀬橋〕 墨田区堤通二丁目

最寄駅 東京スカイツリーライン（伊勢崎線）鐘ヶ淵駅

右側にカネボウ化粧品の看板がある建物がありました。その先が「綾瀬橋」（写真下左）です。隅田川と荒川を結ぶ旧綾瀬川にかかる橋で足立区との区境です。橋から左を見ると隅田川の向こう岸の桜並木（写真下右）が見えました。



[千住曙町交差点] 足立区千住曙町 最寄駅 京成本線 京成関屋駅

千住曙町交差点（写真下右）で川の手通り（都道 314 号線）と交差します。
左へ行くと浅草橋方面、右へ行くと堀切方面です。



[源長寺] 足立区千住仲町 最寄駅 京成本線 千住大橋駅



右側にお寺（写真上左右）があったので立ち寄りました。説明板には「1610年（慶長15年）創建の浄土宗のお寺、この地に住み千住を開拓した石出氏により開かれましたが、千住大橋架橋などに尽力した郡代の伊那氏を敬慕して開祖としている」と記載。

[千住宮元町交差点] 足立区千住宮元町

最寄駅 京成本線 千住大橋駅

千住宮元町交差点（写真下右）で日光街道（国道4号線）と交差します。左へ行くと上野方面、右へ行くと草加方面です。墨堤通りは直進です。



[千住桜木町交差点] 足立区千住桜木二丁目

最寄駅 北千住駅からバス利用

地名が千住桜木なので沿道の桜を期待しましたが、終点手前の東京電力内の桜（写真下左）だけでした。



千住桜木町交差点（写真下左）が墨堤通り（都道 416 号線）の終点です。都道 416 号線は左から来た尾竹橋通り（都道 313 号線）と合流して尾竹橋通り（都道 461 号線）になり、西新井方面へ向かいます。直進は都道 449 号線となり江北橋方面に向かいます。写真下右は千住桜木町交差点にある墨堤通りの標識です。終点・起点の表示で左側が直角になっています。



これにて墨堤通りを起点から終点まで歩きました。墨堤通りは起点から向島辺りまでのイメージしかありませんでしたが、その先の沿道には多くの見所があり勉強になりました。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、滑川を通過、2023 年 4 月 10 日高岡（現在の富山県高岡市）（江戸深川から 1676 km）に到着しました。これから 47 km 先の金沢（現在の石川県金沢市）へ向かいます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

平野 寅次郎 拝